

協働で 地域を元気に

まちづくりの主役は市民一人ひとり。

北上市をさらに住みよいまちにしていくためには、いろいろな立場の皆さんが、一緒に問題点を考え、一緒に解決に取り組むことが大切です。それにより、取り組みへの魅力が高まり、大きな効果が期待できます。

まずは事例に触れながら、協働を身近に感じてみることから始めませんか。

問い合わせ
地域づくり課 内線 3244・3245



企業との協働により開催された野外ライブ「北上野曲」。展勝地を会場に、多くのボランティアが運営をサポートしました(8月31日)

協働のススメ

最近よく耳にする「協働コラボレーション」という言葉。これは、「複数の主体が、目標を共有し、共に力を合わせて活動すること」を言います。市内では、これまでも市民と企業と市が一緒になって公園をつくったり、市民と学校が協力して子どもたちに芸術文化に触れる機会をつくったりと、さまざまな形で協働によるまちづくりが行われてきました。

多様化する公共ニーズへの対応や特色あるまちづくりを進めるためには、現場の声を知り、専門性を有する市民と企業と行政がそれぞれの責任

を果たしながら協力して取り組む「協働」が欠かせません。

コラボ☆チャレンジ

住みよいまちづくりを実現するため、市民の皆さんから広く企画案を募集し、公共的な課題の解決に協働で取り組む事業へ補助する制度が「コラボ☆チャレンジ」です。

平成19年度にスタートし、昨年度までに4事業を実施。本年度は、展勝地で野外音楽フェスティバルを開催する「北上野曲」と、ケーブルテレビとインターネットのブログで情報発信する「テレビプロ通信」が採択されました。これまでの事例は市ホームページ

ページでご覧になれます。事例を参考に、住みよいまちづくりのために、「協働」に取り組んでみませんか。

活動レポート かけっこ体育館



空き時間を子育て世代に無料開放

「かけっこ体育館」はコラボ☆チャレンジがスタートした平成19年度の採択事業です。(株)小原建設が指定管理する村崎野勤労者体育館の空き時間を利用して、週2回施設を子育て中の親子に無料開放。延べ2千人以上が利用しました。児童家庭課とNPO法人フォルダが協働の相手として事業にあたりました。

土日を含む週5日開催

本年度は、利用者のニーズに応じて土日を含む週5日、市内の体育施設や交流センターを会場に開催しています。子どもたちは広い会場を元気に走り回ったり、大きなおもちゃで遊んだり、親同士の交流の場としても好評です。

▷開催日時や場所についての問い合わせ
…村崎野勤労者体育館 ☎66-3304

ご相談は 市民活動情報センターへ

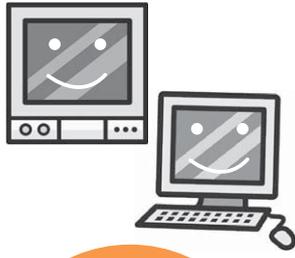
協働の相談・バックアップは市民活動情報センターにお任せ！専門のスタッフがノウハウや相手探しをしっかりサポートします。

▷問い合わせ…いわてNPO-NETサポート(☎61-5035)



会員募集中 テレブロ通信

テレブロ通信は、ケーブルテレビの定時放送とインターネットのブログで情報を同時発信する通信局です。セミナーに参加して、もっと情報発信してみませんか。



テレブロ通信は、
芸術工房と
北上ケーブルテレビと
さくらホールの
協働事業です

▷年会費

…6,000円(会員登録後、1年間は無料)

▷セミナー参加費

…500円/1回

問 い 合 わ せ

NPO法人芸術工房

☎64-7567 URL <http://www.teleblo.jp/>

✉g-kobo@ginga-net.ne.jp



北上野曲を終えて

みちのく民俗芸能まつりに次ぐ夏のイベントとして開催された「北上野曲」。

Y. K. MUSICと(株)小田島組の企画から始まった構想は、大通運送(株)や(株)展勝地、喜久盛酒造(株)、立花自治振興協議会、ギャートルズ、そして多くのボランティアの協力を得て成功裏に終わりました。

Y. K. MUSIC代表
会社員

和泉 勝則 さん

(株)小田島組
代表取締役社長

小田島 直樹 さん



それぞれの得意分野を生かして

プライベートで食事をしているとき、たまたま居合わせた人と音楽イベントのアイデアが話題に上り、市の助成制度(コラボ☆チャレンジ)を活用してみようかと提案したのがきっかけです。

企画が得意な人は企画を、和泉さんのように音楽方面に明るい人はアーティストの選定や依頼、当社は会場設営を行い、それぞれの得意分野を生かして活動しました。市内

の他の企業や個人からも協力を得ることができ、当日は50人以上のボランティアが集まり運営をサポートしました社員にとっては「北上を盛り上げたい」という気持ちを持つ地元の人と知り合い、一緒に活動できたことは収穫だったと思います。

来場者数は当初の予想を越え約400人。これからも若い世代が喜べるようなイベントとして継続したいです。

音楽という共通点を持って集まって活動している団体がY. K. MUSICです。メンバーは20代〜40代半ばの人で、普段はみんな別の仕事に携わっています。これまでに市内の飲食店やショッピングセンターでの音楽イベントを開催してきました。

今回は、わたしたちにとって市内で初めての野外音楽イベントだったため、不安な部分が多かったです。企業の

皆さんからは機材や会場設営のサポートのほかにも、長年の経験からのアドバイスもいただき、準備や運営をスムーズに進めることができました。北上野曲は恒例行事の一つとして毎年開催していきたいです。まちを歩くといろんなところから音楽が流れてくるような文化を根付かせ、若い人も仕事で訪れた人も住んでよかったと思えるようなまちにしていきたいです。

音楽を通してまちの活性化を